

## 平成30年度安曇野市教育委員会第1回臨時会会議録

日 時：平成30年7月11日（水）午前8時30分

場 所：安曇野市役3階「会議室301」

### <出席者>

教育委員：教育長 橋渡勝也、教育長職務代理者 唐木博夫、教育委員 須澤真広、

教育委員 横内理恵子、教育委員 二村美智子

事務局：教育部長 西村康正、学校教育課長 平林洋一、生涯学習課長 臼井隆昭、

文化課長 那須野雅好、図書館交流課長 丸山高人、

生涯学習課長補佐兼社会教育担当係長 山口尊礼

書記：学校教育課長補佐兼教育総務係長 等々力洋子、教育総務係 岩原遼子

傍聴者：傍聴人 1名

### ◎開 会

教育部長 皆さん、おはようございます。

急な臨時会ということでお集まりいただき、大変ありがとうございます。

定刻になりましたので、ただいまから安曇野市教育委員会平成30年度第1回臨時会を開会いたします。

---

### ◎教育長挨拶

教育部長 では、橋渡教育長からご挨拶、進行をお願いいたします。

教育長 皆さん、おはようございます。

本日はご多用の中、臨時会の開催をお願いしましたところ、早い時間にもかかわらずご参集をいただきまして、まことにありがとうございます。

本日は、報告事項1件についてご審議をいただきます。

---

### ◎発議による非公開案件の決定について

**教育長** 本日の会議事項における公開非公開についてでございますけれども、教育委員会の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項において、教育委員会の会議は、公開することとされております。

本日の協議議案は、人事に関する事件その他の事件ではありませんので、公開したいと思います。

このことに関して、委員からご発言はございますでしょうか。

(発言する者なし)

**教育長** それでは、公開のもとで行いたいと思います。

---

### ◎報告第1号 豊科南小児童クラブ実施施設変更について

**教育長** では、早速でございますが、報告事項に移ります。

報告第1号 豊科南小児童クラブ実施施設変更についてを議題といたします。

担当より説明をお願いします。

**教育部長** 「豊科南小児童クラブ実施施設変更について」資料を読み上げ。

**教育長** 報告第1号 豊科南小児童クラブ実施施設変更について、説明が終わりました。

委員からご質問、ご意見等がございましたらお願いいたします。

**唐木委員** お願いいたします。

まず、1点目であります。このようなことを通して、学校を使った施設設備を今後も利用するところが多く出てくるわけなんですけど、保護者、児童、社会福祉協議会、教育委員会がかかわっているわけですけども、その間の信頼関係というようなものを大変心配するわけです。1点目の質問といたしまして、保護者はかなり厳しい受けとめをしているわけですけども、説明会の中で交わされた話し合いはどのようなものであったかということ、それから児童が新たなところで既に動いているわけですが、それが年度途中の夏休みの直前のところで変更になるということに対して、児童はどんな受けとめをしているだろうかというところ。

2点目といたしましては、お聞きした範囲ですと極めて初歩的なミスではないかなということが感じられるわけです。今後、再発防止に向けてどのようなことを考えているの

かということが2点目になります。

3点目としまして、今年度高家児童館を使つての児童クラブの運営の中でなんですけれども、いろんな課題があつて移るということであつたわけなんですけれども、その辺今後開設が遅れていくということに関して、どんなような形で保護者理解、または児童への理解、それから実施者への理解を得ていく予定なのかということもお聞かせいただければというふうに思います。

以上です。

**生涯学習課長** 1点目の保護者、社会福祉協議会、学校、市との信頼関係ということと話し合いがどのようなということでございますけれども、保護者会の中でやはり市が今は空調関係エアコンでございますけれども、空調の設備を整えて体制を整えた中で児童クラブを進めますよというような形を前回の開設前の説明会でもしているということで、それができなかったことに対して保護者の方からも強いお叱りのお言葉をいただきました。委員さんのおっしゃるとおり市が進めた事業についてできなかったということについては、市と保護者なりの信頼関係も難しくなってくるので今後そのようなことがないようにということで、その点につきましては私どもも真摯に受けとめて、今後そういうことのないようにということでお話をさせていただきました。その点については、今後そういうことはないということでご理解をいただいたところでございます。

学校の施設の空き教室を使つての今回の児童クラブでございますけれども、なかなか財政面が厳しい中で人口減少、少子化ということで空き教室の可能性が出てくるので、その場所を使つての児童クラブということは全国的にあるわけです。その点で、やはり新しく建てるものと空き教室を使うところの難しい点が今回出てきたのかなということも考えております。なかなか学校では、今回の空調につきましては建設当時でございますけれども、学校施設の中に空調設備というものは今までに想定していなかったところがございます。今、空調が学校で入っているのは校長室、職員室、保健室のみでございます。ですので、電源、特に今回もそのようなところを十分チェックして改修しなければいけなかったということで、その点について市のほうでも手落ちがあつたということで、大変申しわけなく思っております。今後は、空き教室等を使つての児童クラブ等有効利用ということは十分考えられるわけですので、今後十分注意していきたいと思っております。

豊科南小学校の児童クラブにつきましては、豊科南小学校の敷地内の空き教室を使つてということですので、児童の方には今までの高家児童館への移動を考えますと交通事故に遭わ

ない、交通安全の面でも十分いいということでそこら辺の設置を考えたわけですが、今回その点について、またもとのところに移してという点についてはできるだけ早く空調設備等施設の受け入れ体制を十分にとって、もとの体制に戻したいなというふうに考えております。

再発防止の面につきましては、本当に初歩的なミスということでございます。先ほど、部長が言いましたように気配りといいますか、気がつかなかったという点でございます。業者の見積もりが引いてくる電源のところに関しては考えていなかったといいますか、通常の他の工事について電源はもうあるものという形の中でやっていたようでございますので、そこら辺のところを市のほうもしっかりチェックしなかった、と。それと、市の中でも担当者が1人ではなくて、他の専門分野の職員と十分連携をとって行っていかなければいけなかったという点について、今後は十分に他課とも連携をとって技師等にも相談をする中でやっていきたいというふうに考えております。

**教育部長** 再発防止につきましては、臼井のほうから今申し上げましたが、建築工事でございますので、現在一級建築士が財産管理課のほうにおりますので、今後工事を予定するときにはそちらのほうへ相談をしていくということをしかり行ってまいりたいと思います。

また、開設が遅れることへの理解ということでございます。学校内で児童クラブを行うことが、私も大変望ましいと考えております。早い時期での予算措置に向けて努力をしてまいります。

以上でございます。

**生涯学習課長** 最後の保護者からのご理解というところでございますけれども、今大変暑い時期でありまして私ども冷風機という形で送風する機械で対応しようと思いましたが、その点についてその冷風機が予想以上に温度とか湿度も下がらなかったということと音もうるさい。それと、新しいもののリースでございまして新品だということで、においがしたということで体調も悪くなるのではないかということで、そのようなことも総合的に含めまして児童の方とか社会福祉協議会にお勤めになっている方の体調面を考慮して、やむを得ずもとの空調のある高家児童館内への児童クラブ移転ということで考えさせていただきました。

12日には、十分説明をして保護者の方にもご理解いただきたいと思いますが、実際にこの前の説明会の中で夜集まっていたいて、現場で冷風機等その現場の状況を見る中で保護者の方も移転するのが最良の策ではないかということで、そのようなご意見をいただいたものですからこのような処置をさせていただきました。12日に来ていただかなかった方にも、全ての方に通知を出して、ご説明の会に出ていただけるような連絡をしております。その中で、

ご理解をいただくような形で児童の方の健康面を一番重視してということで、ご理解をいただきたいというふうに考えております。

それと、また高家児童館のほうに行く関係につきましては学校とも社会福祉協議会とも打ち合わせをさせていただきました。4月、5月に一応児童の方も高家児童館のほうに行っていた期間もあるということですので、体制的には過去に経験があるということも考慮して、そのところは十分またご理解いただきますが、過去にやっていたこともあるので対応ができるのではないかとということで、このような策をとらせていただきました。

以上でございます。

**教育長** 他に何かございますでしょうか。

**須澤委員** やはり、保護者の方のご期待が強かっただけ、落胆の程度が大きかったんだろうというふうに推察いたします。この上は、できるだけ早く完成をするんだということをご納得いただくということが基本だろうと思います。

4ページの図面で見ますと、かなりの距離ということでこれを200ボルトで持ってくるとなると、普通の個人住宅なら電柱から持ってくるんですけども、これは機械室のところにあるキュービクルまで入れたからこの中をいわゆる電柱上の施設と同じような感じで200がとれるようにするんだらうというふうに理解しました。問題は、この距離とそれから広さが非常に広いということで広いがゆえにこの事態になったかな、と。だから、児童のことを考えた結果、この広いところを設定したんだな、それが仇になってしまったということでこの辺も他の小学校等とも比較しながら非常に考慮したということは、ご理解いただく必要があるかというふうに思います。その比較検討書ですね。

次に、3点目でございますが、これで議会対応ということになるかと思うんですが、福祉教育委員会でも市民の意見をお聞きするということになるかと思うんです。地域の出身の方も福祉にいた方、含めてそこでのご理解を得なきゃいけないと思うので、ここもなかなか大変かなんていうふうに私はちょっと思っているところです。それに関連して質問は、そこがご了解いただければもう議会を特に開く必要はないということでしょうか。

**教育部長** 本日午後1時半から、福祉教育委員会の協議会を開いていただくような段取りをしてございます。その中で説明させていただきます。

**須澤委員** 本議会は必要ない。

**教育部長** 委員会のほうの説明ということで、今考えております。

**須澤委員** それで十分だと。

**教育部長** ええ。ただ、これがまた補正等の関係が出てくれば、また予算の審議等をお願いするようにはなりますけれども、とりあえず委員長と協議をする中で委員会の中でご報告をするということになっております。

**横澤委員** わかりました。とりあえず、その方向でご理解を得られるだろうということですね。長くなりましたが、最後に要は児童クラブの皆さんの快適な環境整備というのが基本であったということを強調されていくということが、ここに至ってはもう他にはないというふうに思います。

以上です。

**教育長** 他にございますでしょうか。

**横内委員** 当初の予算計上が約400万円だったものが最終的に幾らかかるのか、5月25日の段階で設計が完了、約1,800万円とありますが、設計が完了しただけなのでその後もまだかかってくる可能性があるのか、ちょっとお金の動きについてももう少し教えてください。

**生涯学習課長** 当初、ここに書いてありますように約400万円、398万円の予算計上をさせていただきました。これにつきましては、主が空調工事ということでございますけれども、その中に児童クラブにおきましては、流しだとか中の整備をするところもありますのでそれは少額ですので、そんなことも含めてほぼこれが空調工事の額に該当いたします。それが、先ほどの電源の容量が足りなかったということで、須澤委員がおっしゃるとおりこの機械室から三相200ボルトという電源を持ってくるという、この近くにその電源をとるところが要するにないということですので、ここの機械室の中にキュービクルという形の中にトランスまでかえて、そこからの配線までをしてということでそれが1,000万円以上かかるということがあります。

それと、先ほどエアコンの容量も最低限見積もっていましたがけれども、再度環境を整備する中でそれよりもちょっと大きめになったということで、今後の額でいくと電源工事は約1,000万円かかります。その後、空調の容量も含めて大きくなりましたので、800万円程度かかるということです。機種も大きくなりますと、それと工事には経費というものがありますけれども、この見積もりの中で経費も極小だったというか、再度設計をして正規といいますか、見直しを図った中で経費も見直してちゃんと全てなった中で大まかには電源工事が約1,000万円で、エアコンの本体なりの工事が製品も含めて800万程度ということです。

それで、今設計が完了したということでそれをもとに工事費がこのぐらにかかるといことはわかったということでございます。設計は、ここで別途予算をかけて設計をしたという

ことです。大変申しわけございません。先のころは業者に見積もっただけで、細かい設計を求めていなかったということでございます。すみませんでした。

**横内委員** ありがとうございます。

よくない経過ではありましたけれども、話し合いが持たれて話し合いの中で保護者の方の意見が考慮されたことは、すごくよかったと思います。整ってから子どもたちを迎えていただきたいと、そのように思いました。

以上です。

**二村委員** お願いします。

今回の件については、もちろん厳しく見直しをしていただかなくてはならないと思います。西村部長、そして臼井課長より丁寧な説明をいただきました。3月議会に予算計上をする際に、想定されるさまざまな問題があったわけですが、他の職員が誰も気づかなかったことが残念でなりません。これから先、多額の補正予算を計上し直すために工事自体がリセットされてしまいました。これについてもとても残念に思います。地域の利用者の方々には、場所が移動するということに対して賛否両論があったと思います。もちろん当初ありました。その話は、もちろん職員の方々の耳にも入っていると思います。明日の保護者説明会においては、丁寧な説明に心がけていただき、理解、納得を保護者の方々にしていただき、また保護者の方の思いや考えを受けとめていただきたいと思います。

以上です。

**教育長** 幾つかいただきましたご意見、ご提言については、事務局でしっかりと受けとめていただきたいと思います。

**唐木委員** お願いいたします。

ちょっと要望ということでお聞きいただきたいわけなんですけれども、今後こういう学校施設も含めて、いろんな教育委員会への施設が当初目的とは広げた形の利用というような中で、広がっていくのではないかというふうに予想しているわけです。特に、学校施設はいろんな形での使い方をしていくだろう、と。そこで、是非教育委員会内の例えば学校教育課、生涯学習課等々、そんな教育委員会内の各課の連携はもちろんでありますけれども、他の部署の連携というものを具体的にどんなふうに図っていくのかということ、よく縦割りというような言葉も聞いたり、非常に批判的な面で聞かれたりするわけですが、安曇野市の教育委員会はそういうことがないように今後求めていきたいなということを思います。

2点目であります、実は昨日も学校訪問があったんですけれども、そこで学校の施設設

備に関しては非常に切実なご要望をたくさんお聞かせいただきました。どの学校も老朽化が進んでおりますので、学校施設を使っていくときに老朽化しているところを前提で考えていかないと、思ったような形になっていかないだろう、と。例えば、今回関連があつて指導をいれますが、穂高南小学校の工事期間の延長であるとか今回児童館が移れなかったという、子どもたちの生活そのものに具体的な形で影響が出始めていることを大変危惧しております。是非、現場から上がっている声というようなものを担当者だけではなくて、課内はもとより教育委員会として共有をしていただいて、そして財政が厳しいことは重々承知でありますけれども、そこで適切な、またはあるいは大胆なことも考えながら対応していってもらいたいな、と。以前から教育委員会の席でも、子どもたちの学びとか育ちに直接影響が出るようなことがないということは、大変重要なことであるということも触れたような思いもあります。是非その2点についてお願いをしたいなと、今回のこともいい材料として生かしていかれたらなということを思います。

以上です。

**教育長** その他、ご要望等ございますか。

(発言する者なし)

**教育長** よろしいですか。ありがとうございました。

それでは、この件につきましては異議なしということでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

**教育長** ありがとうございました。

以上をもちまして、報告第1号はご了承いただきました。

これをもちまして、本日の臨時会に付議させていただいた案件は終了いたしました。委員各位には、ご協力いただきましてまことにありがとうございました。

---

## ◎閉 会

**教育部長** 以上をもちまして、安曇野市教育委員会平成30年度第1回臨時会を閉会とさせていただきます。

大変ありがとうございました。